

むらの 話 題



地域の話題をお待ちしています
(広報係 ☎ 885-0340 内線205)

大谷小吹奏楽部 TBSこども音楽コンクール出場



8月5日、土浦市民会館にて行われた「TBSこども音楽コンクール（土浦地区大会）一小学校・音楽合奏部門において、大谷小学校吹奏楽部がみごと優秀賞に輝き、「東日本優秀演奏発表会」の茨城県代表に選出されました。茨城県代表はわずか2校で、大会は12月4日に習志野文化ホール（千葉県習志野市）で行われます。

また、9月11日に栃木県総合文化センター（栃木県宇都宮市）で行われた「東関東吹奏楽コンクール」においても、金賞という優秀な成績をおさめました。大谷小吹奏楽部が金賞を受賞するのは19年ぶりの快挙です。

12月のコンクールに向けて、児童の練習も、先生の指導も、保護者の応援も、いっそう熱を増すことでしよう。力を余すことなく発揮して、良い結果が得られるといいですね。朗報を期待しています。

鹿島アントラーズFC 美浦の日開催



9月17日、県立カシマサッカースタジアムにて「鹿島アントラーズFCフレンドリータウンデイズ美浦の日」が開催されました。

美浦村在住・在勤・在学の方は、この日行われるジュピロ磐田戦を招待または優待価格で観戦することができ、たくさんの方が訪れました。

J1リーグ2ndステージ第12節となるこの試合、サポーターの熱烈的な応援の後押しを受け、鹿島アントラーズは3対0で勝利をおさめました。

地域交流館の安全祈願



9月1日、美浦村地域交流館建設予定地（宮地）にて、工事着手に関わる安全祈願が行われました。

美浦村地域交流館は、村全体の活性化「にぎわいのある魅力的な美浦村の再生」を目標に建設されるもので、子育て支援センター・農産物直売所・多世代交流室等で構成される予定で、魅力的な施設となるよう様々な準備が進んでいます。

春の完成が待ち遠しいですね。

新たな村づくり 応募が続々！



美浦村マスコットキャラクター、美浦村PRロゴマーク、地域交流館愛称募集がそれぞれ9月中旬に締切を迎え、多数のご応募をいただきました。

今後、美浦村マスコットキャラクターと美浦村PRロゴマークについては、選定委員会にて6点の入賞作品を決定。さらに、広報みほ11月号等にて村内在住・在勤・在学の方による人気投票を行い、最優秀（採用）賞1点と優秀賞2点が決定となります。

地域交流館愛称については、選定委員会にて最優秀（採用）賞1点と優秀賞2点を決定し12月に発表、平成29年3月に地域交流館開館式典において表彰を行う予定です。

どんな作品が選ばれるのか、とても楽しみですね。村民の皆さまもご期待ください。

平成28年度 美浦村敬老会



ものまねショー (MIHO-KO)



敬老作文表彰



敬老者代表謝辞



似顔絵ショー (桜小路富士丸)



歌謡ショー (北野都)



シルバーリハビリ体操

9月18日、村と社会福祉協議会の共催により、高齢者の方の長寿を祝う「美浦村敬老会」が中央公民館で開催されました。今年敬老会に招待された75歳以上の敬老者は、昨年より76名増えて2127名となり、このうち301名の方が式典に出席されました。

式典の部では、中島村長、来賓の方々が長寿をお祝いする言葉を贈り、美浦村老人クラブ連合会の萩田正義会長が謝辞を述べました。休憩時間では、シルバーリハビリ体操指導士会の指導のもと座席でできる簡単なストレッチを行って体をほぐし、みなさんお楽しみのアトラクションの部へ。

まず、敬老作文を安中小学校2年生日暮乙葉さん、大谷小学校4年生宮崎心結さん、木原小学校6年生吉田彩乃さんが朗読。その心温まる内容に、たくさん拍手が送られました。続いて、ヒット曲連発のものまねショー、観客も巻き込んで大盛り上がり。似顔絵ショー、美しい歌声で魅了した歌謡ショー、最後には会場の全員でふるさとの合唱と、盛りだくさんの内容でした。

敬老者の皆さん、楽しんでいただけましたでしょうか。来年もまた元気な姿でお会いしましょう。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社題「豊・作」二字以上詠み込み有季無季随意

実り豊かな黄金の波に伸びる苦勞の曲がり腰
飯塚筑風
塚本夏雲

作る小包み笑顔が浮かびあれもこれも大包み
長谷川悦子
高橋一歩

実り豊かに金波のうねり無事に収穫祈る朝
手先器用に金魚や鳥を作る露天の飴細工
関根秀子

ズブの素人若人達が楽し未来の稲作り
技と作戦待りレーチームワークで初の銀
石戸葎華

願う豊作悪夢が襲う日本列島大打撃
貫う年金少ないけれど心豊かに暮らす老い
木村幸子

リオの五輪を引き継ぐ日本見せた豊かなメッセー
うだる暑さも恵みとなつて稔り豊かな秋を待つ
伊藤葉子

婆が作った手料理囲みはしゃぐ孫たち盆の夜
実り豊かな嬉しい季節ぶどう・新米・梨・りんご
田島草実

にくき台風作物奪う北の大地は涙顔
心豊かに大空渡る雁の夫婦がうらめしい
小池きよし

自然豊かな大地の川は時に顔変え人を呑む
昔無心で作った器今はいとしい宝物
沼寄朋香

光豊かな南国リオの熱き血潮は東京へ
米は布佐米やっぱしんまいうんと作ればいがつぱよ
篠原美千代

九月の俳句 (題 当季雑詠)
朝の戸を練れば新涼飛び込めり
武田かずお

秋天やこの指止まれ小さな手
古井戸を覗くが如し乱れ萩
山口杏路

女郎蜘蛛糸を紡いであなた待つ
秋風や外に出るよとパーキンソン
青野安佐子

穂孕みの日ごとに熟す早稲田かな
老いの日々虚勢づくしの秋暑し
石毛恵美子

ウオーキング足に優しき落ち葉かな
庭石の笑くぼに光る露の玉
伊藤八千帆

台風禍全ての財を薙ぎ倒し
駆け出しのひぐらしゆるり昏なづむ
海道民子